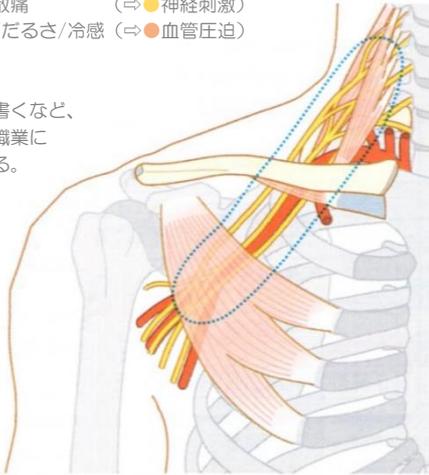


3. 胸郭出口症候群 TOS (Thoracic outlet syndrome)

1-概要と解剖

- 胸郭上方で神経や血管が圧迫される疾患。
 - ・上肢の放散痛 (⇒●神経刺激)
 - ・しびれ感/だるさ/冷感 (⇒●血管圧迫) を訴える。
- ・黒板に字を書くなど、手を挙げる職業に多く発生する。

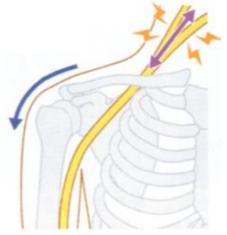


2-好発と分類（発生機序）

- 20～30代のなで肩の女性に多い。



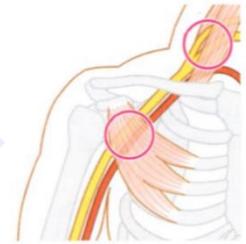
牽引



- 筋肉質の男性では、発達した筋で血管や神経を圧迫することがある。



圧迫



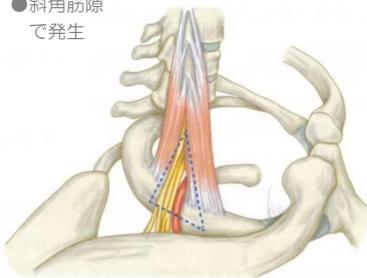
分類	牽引型	圧迫型
好発/特徴	<ul style="list-style-type: none"> ●20～30代の：→ ●黒板に字を書く、室内装飾で手を挙げる職業に多く発生。 	<ul style="list-style-type: none"> ●筋肉質の男性に発症することもある。 ●肋頸による斜角筋隙の狭小化や、なで肩による肋鎖間隙の圧迫が原因。
症状	●神経刺激症状：→	●脈管圧迫症状：→
鑑別疾患	●頸椎症 ●上肢の絞扼性神経障害	●絞扼部位により4つの症候群に分類

※脈管圧迫症状は不定愁訴としてとらえられる。

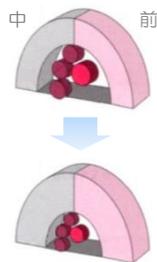
① 斜角筋症候群

1-概要

- 斜角筋隙で発生



2-発生機序



3-鑑別テスト

- ・モーリーテスト (Morley test)



●神経刺激テスト

- ・アドソンテスト (Adson test)



●脈管圧迫テスト

- ・アレンテスト (Allen test)

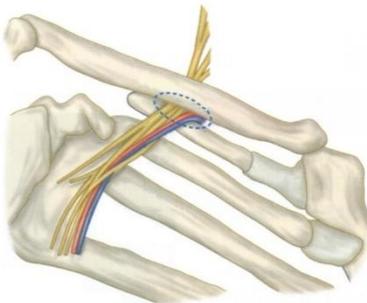


●脈管圧迫テスト

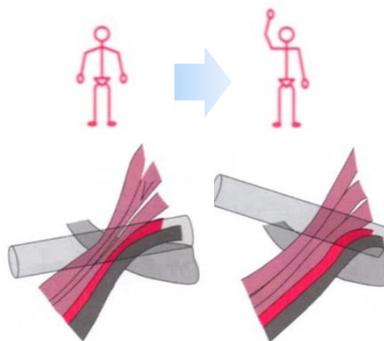
② 肋鎖症候群

1-概要

- 肋鎖間隙にて生じる



2-発生機序



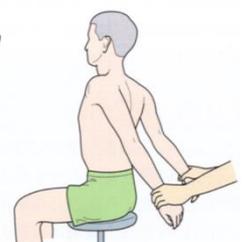
3-鑑別テスト

- ・ルーステスト (Roos test)



●神経刺激テスト

- ・エデンテスト (Eden test)

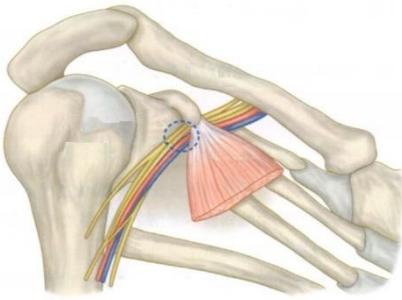


●脈管圧迫テスト

③ 過外転症候群 (⇒小胸筋症候群)

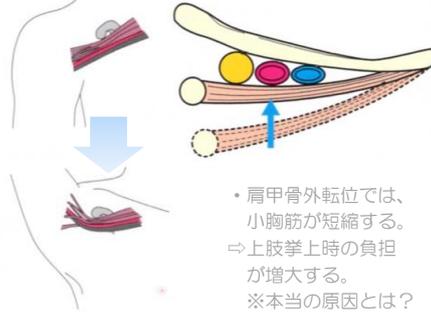
1-概要

●小胸筋下間隙にて生じる



2-発生機序

●小胸筋の緊張短縮時での上肢挙上



・肩甲骨外転位では、小胸筋が短縮する。
⇒上肢挙上時の負担が増大する。
※本当の原因とは？

3-鑑別テスト

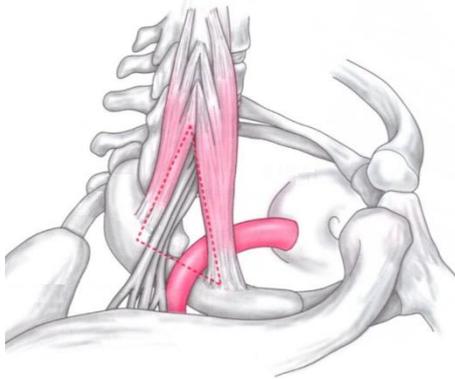
・ライトテスト (Wright test)



●脈管圧迫テスト

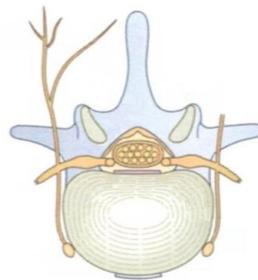
④ 頸肋症候群

●第7頸椎横突起が長くなる先天的形態異常を頸肋骨と呼び、斜角筋隙を圧迫し発症。

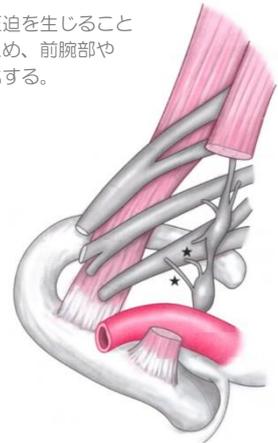


※難治性の症例

●長期化したTOSでは交感神経幹への圧迫を生じることがある。末梢血管の運動が阻害されるため、前腕部や手指の浮腫やチアノーゼ、鈍痛が慢性化する。
※上肢末端の変色が生じる場合もある。



※交感神経幹、腰椎1で表現



分類	斜角筋症候群	肋鎖症候群	過外転症候群	頸肋症候群
絞扼部位	●→	●→	●→	●→
鑑別テスト	●→	●→	●→	
	●→	●→		
	●→			

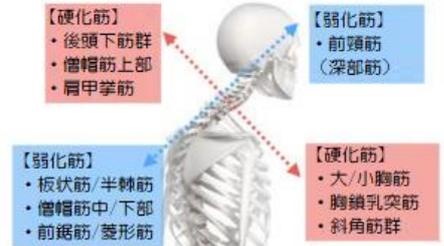
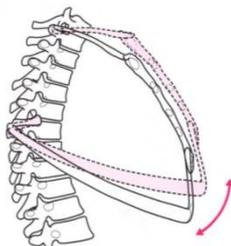
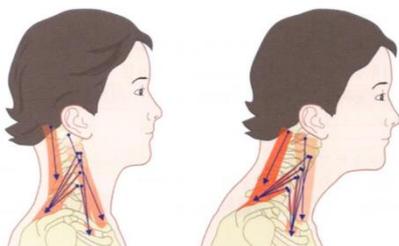
【鑑別基準】
 ●神経刺激テスト→上肢の放散痛 / しびれ
 ●脈管圧迫テスト→脈拍の減弱 / 消失

※各症候群の考察

・斜角筋症候群/頸椎前方変位による斜角筋緊張

・肋鎖症候群/斜角筋緊張による肋骨挙上

・過外転症候群/不良姿勢による肩甲骨外転



ご清聴ありがとうございました。

第32回 練習問題

問題1 胸郭出口症候群で正しいものはどれか

1. 60代に好発する
2. 男性に好発する
3. 上肢の不定愁訴を訴える
4. 外傷性に発生する

問題2 胸郭出口症候群の絞扼部位で正しいものはどれか

1. 鎖骨と鎖骨下筋の間
2. 中斜角筋と後斜角筋の間
3. 小胸筋と胸壁の間
4. 前鋸筋と小胸筋の間

問題3 胸郭出口症候群と検査法の組み合わせで正しいものはどれか

1. 肋鎖症候群——アレンテスト
2. 過外転症候群——エデンテスト
3. 肋頸症候群——ライトテスト
4. 斜角筋症候群——モーリーテスト

問題4 橈骨動脈の拍動を調べないものはどれか

1. アドソンテスト
2. エデンテスト
3. ルーステスト
4. アレンテスト

問題5 21歳女性、事務職員。2週間前より左上肢に鈍痛と冷感、しびれを自覚。

その後、腕を上げると上肢がだるく、症状が悪化。整骨院に来所した。

患者大腿部の上に置いた患側上肢の橈骨動脈を触知し、頸部を後屈し回旋すると脈拍が消失した。あてはまるのはどれか。

1. 斜角筋症候群
2. 肋鎖症候群
3. 過外転症候群
4. 頸肋症候群

※参考

好発特徴 → なで肩の女性
 症状 → 上肢の放散痛 → しびれ、だるさ、冷感

絞扼部位 → 斜角筋隙 → 肋鎖間隙 → 小胸筋下間隙 → 頸肋骨の形成異常
 →
 →
 →

問題1-3 20~30代女性に多く、なで肩による
 持続的な牽引や、圧迫などによる慢性障害
 問題2-3 斜角筋隙 ⇨ 前/中斜角筋
 肋鎖間隙 ⇨ 鎖骨/肋骨
 小胸筋下間隙 ⇨ 小胸筋/胸壁
 問題3-4 モーリー/エデンの2つが神経刺激テスト
 問題5-1 アドソンテストである